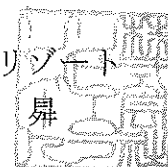


指定管理業務実績（上半期・下半期）報告書

平成30年5月10日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

葉山港指定管理者  
株式会社リビエラリゾート  
代表取締役 渡邊 昇



葉山港の管理に関する基本協定書第42条第2項の規定に基づき、次のとおり指定管理業務実績報告書を提出します。

記

- 1 葉山港事業実施報告書
  - (1) 業務の運営に係る総括  
(組織体制、内部管理体制、受付の無休化、スタッフ研修、業務合理化等)
  - (2) 港湾管理業務に係る総括  
(利用承認業務、利用者指導・調整等、安全管理指導)
  - (3) 維持管理業務に係る総括  
(施設維持管理業務、災害時対応業務等、駐車場管理業務)
  - (4) 開かれた港湾に向けた取組に係る総括  
(開かれた港湾に向けたイベント等実施結果、利用促進・付帯事業・広報等)
- 2 下半期収入状況
- 3 下半期指定管理料執行状況報告書
- 4 下半期証紙購入及び収入

# 指定管理業務実績（下期）報告書

平成 30 年 5 月 10 日

神奈川県横須賀土木事務所長 殿

指定管理者  
株式会社リビエラリゾート  
代表取締役 渡邊 昇

## 1、葉山港事業実績報告書（平成 29 年度下期）

### （1）業務の運営に係ることについて

#### ア、組織体制

- ・平成 29 年度葉山港人員配置書に基づき、正社員 5 名、非常勤社員 4 名、アルバイト作業員 5 名の業務実施対応をとった。

ハーバー課員について人員の入れ替えがあり、1 名が抜けた分 1 名を補充した。

#### イ、内部管理体制

- ・必要に応じて分担外の事務を相互に援助し処理する為に、事務所に携わる全スタッフが窓口事務、利用承認事務や駐車場料金回収業務等対応できる状態にし、青海苔除去作業、港内の巡視業務に関しては、荒天時以外は全スタッフで対応できる状態にした。平成 24 年度から実施している「施設の磨き上げ」をテーマに 1 日 30 分程度を毎日継続し、当日の参加可能スタッフ 4 名程度が利用者目線で施設内の清掃活動を実施した。

#### ウ、受付の無休化

- ・26 年度から 31 年度までの年中無休で受け付けを継続する事を 25 年度中に申請した。

#### エ、スタッフ研修

- ・毎日朝礼を実施し、挨拶練習と接遇練習を実施。
- ・地震による津波警報が発令された想定でスタッフ間の避難訓練を実施。合わせて外部委託の夜間警備員についても、避難行動マニュアルの内容に沿った避難誘導訓練を実施した。

#### オ、業務合理化等

- ・業務内容をスタッフ間で週に一度ミーティングを開催し、港内全般の経費の節減や小規模の修繕について話し合い、都度改善に取り組んだ。

## (2) 港湾管理業務

### ア、利用承認業務

- ・利用承認手続き事務については、「葉山港の施設の利用承認等に関する事務処理要綱」に基づき実施しており、順調に推移している。
- ・その他、条例、規則、利用上の取扱い等を遵守し、中立公平を旨として実施している。利用承認申請手続きにおいて、個人情報漏洩に注意し、申請内容、添付書類等の確認を図りながら収入証紙の消印時の確認等に誤りがないよう事務の執行に際し徹底指導を行っている。
- ・ヨット競技が同日に複数開催される際には、施設が効率的に利用できるよう調整し、有効活用を図った。その他、大会ヤードやビジター棧橋について一般の臨時利用もヨットレースと同時にご利用をいただく工夫を実施。クレームや大きな事故などなく安全に大会ヤードを提供した。

### イ、安全管理等サービス業務

- ・艇の出艇時に気象等安全に関することを窓口で必ず伝え、注意報等が発令された時は、ヨット施設利用者等の安全管理等業務に基づき出艇禁止等の措置を行い、また、天候が急変した時は、救助艇で海上での帰港指導を行うとともに帰着の確認をし、安全な対応を図っている。
- ・窓口での対応をはじめ船舶係留施設の安全点検を実施している。
- ・葉山町や県主催の行事に積極的に協力し人員の補助や、レスキュー艇で体験乗船を行った。

## (3) 維持管理業務に関することについて

### ア、施設維持管理業務

- ・定められた施設の維持管理に伴う定期清掃については、利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めている。港内船揚場斜路の青海苔除去作業については、特に注意深く行い、利用者の安全に努めた。その他、港内巡視業務を実施し、各施設の安全確認を行った。また、通常の巡視業務とは別に A 防波堤を 1 日 2 回巡視し、立入禁止区域への立入者への口頭注意と港内放送での注意を実施した。夜間についても警備員が施設全体を定期的に巡回し、施設内の安全管理に努めた。

### イ、保守点検・修繕等業務

- ・施設を安全に利用できるよう事務所自動ドア、自家用電気工作物保安管理業務等の全 6 項目において保守点検を専門業者へ委託した。保守点検については平成 27 年から施工のフロン排出抑制法に基づき専門業者に点検を依頼し実施をした。平成 30 年度以降も継続して点検を予定している。これまでの 6 項目が平成 30 年度以降は 7 項目に変更し、対応をしていく。自社のレスキューボート 2 艇に関しては、自社の整備担当スタッフによる点検・修理を実施した。

#### ウ、災害時対応業務

- ・葉山港は葉山町地域防災計画に位置づけられており、町に災害対策本部が設置され、葉山港においては緊急物資の受け入れや避難場所の開設等、県の災害対策本部との連携にあっても、事務所スタッフが迅速な対応を図るように努めている。
- ・既設の「葉山港津波発生時行動マニュアル」にもとづき、避難誘導訓練を上期に実施をした。平成30年度からは、利用者も参加する避難訓練を企画していく。
- ・解放しているA防波堤の利用について越波等の状況を確認後利用者の安全を考え、荒天時には臨時に閉鎖等の対応を図り、また、台風等の接近が予想される場合は、事前に係留艇、陸置艇のロープ等の状況を確認し、迅速な対応を図るよう努めている。利用者からの問い合わせに対し、艇の確認で来港される方が多い際は台風時の来港者リスト作成を実施した。

#### エ、駐車場管理業務

- ・快適に駐車場を利用できるよう適切な管理を行い、自動料金徴収機等の故障時等は迅速に対応した。また、定期的に点検を行い、駐車券の補充、釣銭の補充等を行いトラブル等防止に細心の注意を払い業務を実施した。
- ・専門業者に駐車場システムの保守点検を委託し実施した。

#### オ、会議室及びシャワー室利用承認業務

- ・利用者間の平等利用に留意しながら公平かつ適切に行うよう努めた。

### (4) 開かれた港湾としての取り組みに係ることについて

#### ア、開かれた港湾としてのイベント

- ・10月に開催された例年誘致をしている「バリアフリーヨット大会」や葉山町主催の「ヨット体験乗船会」については、葉山町や葉山町セーリング協会より依頼を受け、参加者に対しクルーザーヨットやボートを使用した体験乗船を実施した。
- ・どなたでもご利用いただけるアフタヌーンクルーズの受け入れ実施した。海の駅として広く利用をいただける様現在は葉山港のホームページで告知をしているが、プラスして葉山町商工会のホームページでも告知をしてもらえる様手続きを依頼した。
- ・ディンギーヨットレースの誘致については、9月~11月にかけて関東学生ヨット連盟のインカレやスナイプ級全日本大会の誘致を行った。

#### イ、利用促進、広報

- ・新港大会ヤードで行われるレース開催及び臨時艇を受け入れ、外来艇の利用促進に努めた。
- ・利用案内を窓口へ備え付け、必要に応じて利用者に配布した。
- ・葉山港の公式ホームページを利用し、レース予定・施設のご案内・ライブカメラ・申請書のダウンロードなどを継続して利用可能にした。また、ホームページについては見直しを行い、スマートフォンやタブレットでの閲覧がしやすい対応を行った。

- ・1階の管理事務所前に休憩スペースや、カップ麺や、ビールなど利用者から要望をいただいた物販を継続して実施した。船具販売についても継続して販売をしており、商品構成については利用者からの意見を反映している。

他、管理時事務所棟内に関して無線 LAN 回線を継続して使用できる様にした。

- ・以前設置した事務所前スペースの意見箱と掲示板について、定期的に情報更新を実施した。利用者からの意見については、対応結果を記載した物を掲示板に掲示した。
- ・通年艇利用者に対しては、レースやイベント時で混雑が予想される際は事前に通知を送り、施設提供の協力と大会開催の理解を得ていただく要望を郵送にて対応した。

ウ、付帯事業等に係ることについて

- ・平成 29 年度の事業計画をもとに自主事業を行った。

#### ① レンタルボート事業

ヤマハシースタイルレンタルボートの継続。通年艇利用者は、特別会員制度があり、ヨットレースの運営艇や救助艇としての利用も増加傾向にある。

一般の会員の方も利用できるシステムではあるが、安全講習を行った上での利用の為、トラブルや事故は現在まで無い状態である。

#### ② 海の駅としての取り組み

海の駅としてビジターバースの利用促進を実施した。大会等で使用できない場合以外は積極的にビジターバースの誘致を実施。イベントについては 10 月に葉山町が実施をするヨット体験イベントの体験乗船の委託を受け、大型のカタマランヨットを使用した体験クルージングを 1 日 2 便実施した。同イベントについては 30 年度についても開催予定で内容と開催時期について打ち合わせを実施している。

通年で実施をしているアフタヌーンクルーズについても、30 年度も継続予定で、集客面の強化を図り多くの方に利用をして貰える体制を構築していく。

#### ③ 物品販売

カップ麺やビールやディンギーヨットのパーツを可能な限り安価で販売をし、利用者のニーズに応えた。今後も利用者からの意見を取り入れた販売を継続していく。

以上

平成29年度 下期収入計

29年度下半期

	証紙販売	証紙店頭販売	駐車場	船具庫	ウインチ	会議室	会議室付帯 設備	シャワー	緑化	収入計 (証紙販売・緑 化除く)
10月	4,589,950	35,600	1,580,230	65,770	3,100	196,050	1,440	47,600	260	1,894,190
11月	5,592,270	37,100	2,027,650	124,180	4,960	200,460	4,320	29,500	440	2,391,070
12月	2,077,210	20,500	1,420,570	52,280	4,340	141,410	2,880	21,900	320	1,643,380
1月	1,918,020	124,400	1,097,720	19,610	1,240	129,470	2,880	6,900	320	1,257,820
2月	2,474,680	43,000	924,940	117,650	1,860	89,970	2,880	33,900	240	1,171,200
3月	7,566,110	9,400	1,664,860	424,820	3,720	147,650	5,760	50,300	380	2,297,110
半期計	24,218,240	270,000	8,715,970	804,310	19,220	905,010	20,160	190,100	1,960	10,654,770

平成29年度下期指定管理料執行状況報告書

区 分		金 額 (単位:円)			備 考
		指定管理業務	指定管理 附帯事業	その他 提案事業	
収 入	指定管理料	23,146,294			
	県収入証紙販売手数料		881,576		
	その他(事業収入)	9,872,603		10,505,808	
	その他(事業外収入)				
	消費税及び地方消費税	2,641,516		840,465	
	収入合計(A)	35,660,413	881,576	11,346,273	
支 出	人 件 費	常勤給与・賞与	5,289,390		
		非常勤給与・賞与	5,160,000		
		各種手当	1,111,794		
		法定福利費	2,000,184		
		アルバイト賃金	3,893,426		3,893,500
		小 計	17,454,794	0	3,893,500
	事 務 費	一般管理費	1,809,951		3,124,253
		光熱水費	3,142,906		
		保険料	0		0
	ヨット等安全管理業務費	717,104		0	
	駐車場管理費	364,200			
	施設維持管理費	6,574,239			
	租税公課	4,000		0	
	減価償却	14,948		1,851,306	
	その他			1,208,332	
	小計	12,627,348	0	6,183,891	
	合計	30,082,142	0	10,077,391	
	消費税及び地方消費税	2,104,065		503,216	
	支出合計(B)	32,186,207	0	10,580,607	
差し引き(A)-(B)		3,474,206	881,576	765,666	
差し引税別		2,936,755	881,576	428,417	

29年度下半期 葉山港証紙購入・販売状況

(単位:円)

	購入	販売	残
			19,770,230
10月	0	4,625,550	15,144,680
11月	6,135,000	5,629,370	15,650,310
12月	0	2,097,710	13,552,600
1月	9,365,000	2,042,420	20,875,180
2月	0	2,517,680	18,357,500
3月	0	7,575,510	10,781,990

購入合計額 15,500,000

販売合計額 24,488,240

残 10,781,990

計 15,500,000 24,488,240